

トピックス

東京都 特定緊急輸送道路 6 月末（予定）に指定へ

東京都における緊急輸送道路（約 2 千キロ）のうち、特に沿道建築物の耐震化を推進する必要がある道路”特定緊急輸送道路”が 6 月末に指定される予定です。特定沿道の建築物所有者には、10 月より耐震化状況の報告、H23.4 月より耐震診断実施の義務化が施行されます。この建築物所有者とは①敷地が特定緊急輸送道路に接する建築物②S56.5 月以前に新築された建築物（旧耐震）③①にて接する道路の幅員 1/2 以上の高さの建築物です。詳しくは東京都のホームページ「耐震ポータルサイト」をご覧ください。→ <http://www.taishin.metro.tokyo.jp/>

トグル実績の紹介（昭栄錦町ビル耐震改修事例）

◇工事概要

この建物の耐震改修の特徴を記載します。

- ・テナント様の移動がなく、営業を継続しながらの施工。
- ・建物の 2 面が交通量の多い道路に囲まれた立地を配慮し、なるべく交通を妨げないような取付施工
- ・既存サッシュ、壁はそのまま使用し、耐震補強面の外側にガラスカーテンウォールを設置。
- ・PML 値を考慮した耐震改修。改修後の PML 値は、改修前の 30% 台から 5% 以内に低減。

構造・階数	SRC造 9階建て
延べ床面積	5,451㎡
トグル基数	12基
全体工期	H16年4月～H17年4月

平成15年度			平成16年度			平成17年度		
10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	
設計			着工			竣工		
トグル取付け								
カーテンウォール取付け								



* PML 値とは

建築・不動産業界で使用される PML 値の定義は、建物の一般的な耐用年数 50 年間に確立論的に起こり得る最大規模の地震（約 475 年に一度おきる大地震に相当）により生ずる損失の割合。PML 値が小さいほど、建物の地震による被害リスクが小さい。

PML(%)	危険度	予想される被害
0～10	極めて低い	軽微な構造体の被害
10～20	低い	局部的な構造体の被害
20～30	中位	中破の可能性がある
30～60	高い	大破の可能性がある
60～	非常に高い	倒壊の可能性がある

◇完成写真

